

## 令和2年度定期監査報告書

浜中町監査委員 串 田 明

浜中町監査委員 成 田 良 雄

### 1 監査の範囲

令和2年4月1日から令和2年9月30日までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理

### 2 監査の方法

上記「1 監査の範囲」について、関係法令等及び予算に基づき適切に執行されているかを主眼とし、経済性、効率性、有効性の観点にも留意しつつ関係書類による検査及び関係職員からの聞き取りにより実施した。

### 3 監査の期間

令和2年11月6日から令和2年11月27日まで（8日間）

### 4 監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理については、概ね適正に執行されているものと認める。

町長部局、各委員会部局、  
議会議務局等各係の監査内容（報告）

# 1 総務課

総務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

## (1) 総務係

庁舎の維持管理ほか、文書の收受及び発送、許可指令 4 件、認可指令 2 件、補助指令 187 件（前年対比 80 件増）、条例・規則・訓令の公布 75 件（前年対比 25 件増）、告示 36 件（前年対比 2 件増）、自動車臨時運行許可（ナンバー交付）12 件（前年対比 2 件減）を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 304,674 千円に対し、調定額・収入済額ともに 158,093 千円で調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 421,356 千円に対し、支出済額 101,695 千円、執行率 24.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町村会負担金ほか 13 件 2,379 千円が支出済である。

## (2) 職員係

職員の任免、賞罰、分限、服務、給与、福利厚生、健康管理、研修等の職員に関すること及び職員団体、職員住宅に関することを分掌しており、健康管理としては、メンタルヘルスの不調を未然に防止することを目的としたストレスチェックを対象者 255 人（実受検者 249 人）に対して行ったほか、健康診断 173 人、人間ドック 99 人の受診に関する管理を行っている。職員研修では、広報広聴技術研究会の自己研鑽研修への職員派遣、町主催での新規採用職員研修を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 5,458 千円に対し、調定額 5,125 千円、収入済額 2,786 千円で、調定対比 54.4%である。歳出は、予算現額 1,283,580 千円に対し、支出済額 596,551 千円、執行率 46.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、退職手当組合負担金ほか 3 件 38,751 千円が支出済である。

## (3) 交通安全係

交通安全対策、防犯活動及び関係団体に関すること、町有車両の維持管理（33 台）、巡回バス・福祉バスに関すること、生活交通路線確保に関することを主な業務としている。

交通安全指導員（27 人）の出動状況は、今年度は新型コロナウイルス感染予防対策によりイベントの開催が中止になり、出動はありません。また、平成 31 年 4 月 28 日に発生した交通死亡事故以降、町内の交通死亡事故ゼロ日数は本監査実施日の直近であった 9 月末現在で 521 日となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,710 千円に対し、調定額・収入済額ともに 527 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 81,585 千円に対し、支出済額 40,134 千円、執行率 49.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町地域公共交通活性化協議会運営費補助ほか 5 件 28,447 千円が支出済である。

## (4) 契約管財係

建設工事の契約、公有財産の取得・管理処分、備品の管理や公の集会施設維持管理に関する業務、公営住宅の建設計画、維持管理など財産関係の業務を主としており、詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 187,465 千円、調定額 62,419 千円、収入済額 28,589 千円、調定対比 45.8%となっており、歳出は、予算現額 414,192 千円に対し、支出済額 36,470 千円、執行率 8.8%である。

●町有財産の状況

○土地	総面積 39,994,540 m <sup>2</sup> (うち山林面積 28,588,910 m <sup>2</sup> 、立木推定量 304,094 m <sup>3</sup> )		
○建物	総面積 111,647 m <sup>2</sup> (うち木造 18,746 m <sup>2</sup> 、非木造 92,901 m <sup>2</sup> )		
○有価証券(株券)	1 件	1,000 千円	
○出資金・出捐金	21 件	88,965 千円	
	(うち出資金 11 件 66,973 千円、出捐金 10 件 21,992 千円)		

●土地建物貸付関係

○土地(有償分)			
・宅地	72 件 (前年対比 1 件増)	23,405.62 m <sup>2</sup> (前年対比 152.86 m <sup>2</sup> 増)	1,922 千円 (前年対比 21 千円増)
・干場	71 件 (前年対比 1 件増)	87,876.10 m <sup>2</sup> (前年対比 5,657.76 m <sup>2</sup> 増)	1,383 千円 (前年対比 98 千円増)
・その他	91 件 (前年対比 1 件増)	150,739.18 m <sup>2</sup> (前年対比 178.39 m <sup>2</sup> 減)	3,346 千円 (前年対比 19 千円増)
計	234 件 (前年対比 3 件増)	262,020.90 m <sup>2</sup> (前年対比 5,632.23 m <sup>2</sup> 増)	6,651 千円 (前年対比 138 千円増)
○土地(無償貸付分)	125 件 (増減なし)	219,429.91 m <sup>2</sup> (増減なし)	
○牧野	5 件 (増減なし)	298,502.00 m <sup>2</sup> (増減なし)	184 千円 (増減なし)
○建物	38 件 (前年対比 1 件増)	37 棟 (前年対比 1 件増)	2,971 千円 (前年対比 268 千円増)

●土地借用関係

38 件	213,092.43 m <sup>2</sup>	借地料 1,304 千円
(うち無償 18 件)	165,978.29 m <sup>2</sup> )	(前年対比 66 千円減)

●財産の取得

○土地	11 件	3,996.55 m <sup>2</sup>	取得金額 7,625 千円
	(うち寄附 1 件、譲与 3 件 136.55 m <sup>2</sup> )		
○建物	3 件	328.48 m <sup>2</sup>	取得金額 412,160 千円
	(前年対比 526,735 千円減)		

●財産の処分

○土 石

岩 石 15,000.0 m<sup>3</sup> 処分額 3,300 千円  
(前年対比 3,180 千円減)

●職員住宅関係

木造住宅・ブロック造・軽量気泡コンクリートパネル造  
14 棟 45 戸

●公有物件共済加入状況

職員住宅ほか（共済責任額 9,544,109 千円） 分担金 2,932 千円

●町有施設保守管理委託状況

一般会計分として、消防用設備点検等（42 施設）3,748 千円、浄化槽保守点検（14 施設）828 千円、自家用電気工作物保安管理（17 施設）2,963 千円、暖房設備保守点検（15 施設）1,648 千円、地下タンク及び地下配管点検（10 施設）253 千円、排水再利用装置保守管理（4 施設）2,046 千円、昇降設備保守点検（2 施設）1,518 千円、煙道中の排ガス測定（4 施設）297 千円。これに浜中診療所特別会計分 4 件（消防用設備点検等、自家用電気工作物保安管理、暖房設備保守点検、地下タンク及び地下配管点検）479 千円を合わせた合計 112 施設 13,780 千円分の業務について委託契約を締結している。

●町営住宅管理状況

町営住宅は、団地数 13 団地、棟数 43 棟、保有戸数 217 戸。入居は 174 戸で 43 戸が空家となっており、このうち 13 戸は政策空家である。現在、霧多布 G 団地は長寿命化工事中である。町営住宅使用料の高額滞納に係る徴収等については、他の入居者との公平性を維持する視点からも政策的改善方法が必要である。多重債務者への対応は、収納対策委員会や関係各課で情報共有を図り、今後も一層の債権回収に努められたい。また、引き続き町営住宅管理マニュアル（チェックマニュアル）等のルールに則った町営住宅の管理を期待するものである。

●公の集会施設利用状況

公の集会施設（26 施設）は、のべ 364 回 6,862 人に利用され、新型コロナウイルス感染症の影響により前年対比で利用回数 635 回、利用人数 11,104 人の減となっている。

なお、9 月末現在の各種工事などの契約状況は次のとおりである。

工事区分	件 数	契約金額	対 比
土木工事関係	10 件（前年対比 6 件減）	126,379 千円	（前年対比 279,944 千円減）
建築工事関係	17 件（ 〃 8 件増）	1,291,840 千円	（ 〃 415,003 千円増）
委託事業関係	19 件（ 〃 8 件増）	105,435 千円	（ 〃 18,397 千円減）
合 計	46 件（前年対比 10 件増）	1,523,654 千円	（前年対比 116,662 千円増）
物品購入関係	19 件（前年対比 11 件増）	253,643 千円	（前年対比 158,213 千円増）

(5) 情報管理係

OA 化の推進、電子計算機に係る総合調整及びデータ管理・保守、行政情報システムの調査、研究

及び行政情報の利用の促進、情報公開、個人情報保護に関することを分掌している。

今年度、情報公開・個人情報保護審議委員 5 名を委嘱。管轄下の O A 機器の管理・更新等を担当し、申請書作成支援システムの導入を行ったほか、eラーニングによるマイナンバー制度に携わる職員を対象とした研修（受講者 29 人）の実施や O S のサポート期限到来に伴うサーバ O S 更改及び端末更新も実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 2,208 千円に対し、調定額・収入済額ともに 4 千円、調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 61,756 千円に対し、支出済額 29,793 千円、執行率 48.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 3 件 24,350 千円が支出済である。

### **(6) 庁舎建設準備係**

令和 3 年 1 月 6 日から新庁舎使用開始という計画のもと、役場庁舎建設に関する業務を係長 1 人、主事 1 人で執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 114,830 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%となっており、歳出は、予算現額 3,276,759 千円に対し、支出済額 1,211,446 千円、執行率 37.0%である。

## **2 選挙管理委員会**

### **事務局**

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

予算執行状況は、歳出はのみで予算現額 524 千円に対し、支出済額 149 千円、執行率 28.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村選挙管理委員会連合会負担金 34 千円が支出済である。

## **3 防災対策室**

### **防災係**

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

防災計画及び防災対策、緊急災害の統括、防災無線、水防計画、国民保護計画及び国民保護対策、消防に関すること、その他防災に関すること、空家等対策に関することを主な業務としている。

津波防災避難訓練については、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止とした。本年度は 9 月に昆布操業時の防災情報伝達訓練を実施した。

空家等対策として不良空家等除却補助の申請が 9 月末までに 7 件あり、うち 1 件は交付済である。

監査実施日現在、本町においては地震や停電、台風による被害は発生していないが、各種災害に関する町民への情報提供や防災意識の高揚を図る対策は継続して求められるものである。

予算執行状況は、歳入予算現額 4,300 千円に対し、調定額・収入済額ともに 5 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 360,520 千円に対し、支出済額 189,276 千円、執行率 52.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路東部消防組合浜中消防署負担金ほか 4 件 181,767 千円が支出済である。

## 4 町民課

町民課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 町民係

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、犯罪人名簿、旅券事務、外国人住民に関することに加え、人口動態、電子署名に係る地方公共団体の認証業務、個人番号の指定・通知、個人番号カードの交付等に関する業務を遂行している。

令和 2 年 9 月末現在の住民基本台帳登録人口と世帯数では、人口 5,662 人（男 2,783 人・女 2,879 人）、世帯数 2,480 世帯となっており、前年対比で人口は 127 人減（男 83 人減、女 44 人減）、世帯数は 7 世帯の減となっている。

戸籍事務については、本庁で業務を一括して行い、各支所は証明書の交付のみを行っている。

各種証明の取り扱いは、全町で 5,534 件（うち無料分 1,476 件。全町前年対比 294 件増）、1,861 千円（前年対比 160 千円減）である。

予算執行状況は、歳入予算現額 16,081 千円に対し、調定額・収入済額ともに 2,028 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 20,346 千円に対し、支出済額 4,216 千円、執行率 20.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、戸籍事務共同運用負担金ほか 3 件 3,799 千円が支出済である。

### (2) 保険年金係

国民健康保険、後期高齢者医療、重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費、子ども医療費、国民年金に関する業務を執行している。

医療費の一部を助成することにより保健の向上に資するとともに、福祉の増進を図ることを目的とした各種医療費給付事業の対象者数は、重度心身障がい者医療給付事業 97 人（障 37 人、障老 60 人。前年対比 7 人増。）、ひとり親家庭等医療給付事業 153 人（前年対比 1 人減）、子ども医療給付事業 731 人（前年対比 40 人減）、浜中町精神障がい者医療費助成事業 16 人（前年対比 1 人増）の合計 997 人（前年対比 33 人減）となっており、必要に応じ、随時助成を行っている。

国民年金については、年金給付、資格得喪、免除申請等の各種申請の進達、日本年金機構釧路年金事務所等からの調査依頼への回答や定期的に福祉年金、障害年金に係る所得調査等を行っている。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 50,115 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,266 千

円、調定対比 100.0%であり、歳出は、予算現額 167,563 千円に対し、支出済額 60,843 千円、執行率 36.3%となっている。

国民健康保険に関しては、令和 2 年 9 月末現在で被保険者 1,077 世帯（前年対比 8 世帯減）2,425 人（前年対比 11 人減）が加入している。

国民健康保険制度の改正により、財政運営の責任は北海道が担い、保険証の発行や療養費等の申請、国保税の課税・徴収事務、保険事業は従来どおり浜中町が行うこととなった。保険給付に必要な費用は北海道が負担するが、その財源として市町村が北海道に対し、「国保事業費納付金」を納める方式となり、北海道は各市町村の医療費や所得等を基準に納付金の額を決定し、市町村はその納付金の額に応じた国保税を課税することとなっている。浜中町においては前年所得をもとに、前年度の繰越金の一部を減税財源に充てるなど税率改正を行っている。

国民健康保険特別会計の歳入歳出予算総額は 1,169,570 千円で、歳入予算の割合は、国民健康保険税 29.72%、道支出金 66.37%、その他収入で 3.91%となっており、歳出は、保険給付費 64.11%、国民健康保険事業費納付金 33.60%、保険事業費 1.39%、その他支出で 0.90%となっている。

予算執行状況は、歳入は、調定額 648,301 千円、収入済額 408,040 千円で調定対比 63.0%。歳出では、支出済額 448,647 千円で、執行率 38.4%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道国民健康保険団体連合会負担金 530 千円が支出済である。

後期高齢者医療制度は、75 歳以上と 65 歳から 74 歳で一定の障がいの状態のある者が対象であり、後期高齢者医療保険被保険者数は 867 人（うち 75 歳未満 33 人。全体数の前年対比 23 人減）である。

後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算総額は 78,732 千円で、歳入では、調定額 55,013 千円、収入済額 26,783 千円で調定対比 48.7%。歳出の支出済額は 27,241 千円で執行率 34.6%となっており、主な支出済額は、負担金、補助及び交付金の後期高齢者広域連合保険料負担金等で 26,814 千円となっている。

### （3）生活環境係

公衆衛生、廃棄物の処理及び清掃、墓地及び斎場、畜犬取締り及び野犬掃とう、公害、衛生諸施設の管理運営に関することを主な業務としている。

4 月～9 月末現在までの収入証紙売捌状況及び衛生センターの稼働状況、ごみ処理の状況に係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 43,654 千円に対し、調定額 20,270 千円、収入済額 17,834 千円、調定対比 88.0%となっており、歳出は、予算現額 228,247 千円に対し、支出済額 78,354 千円、執行率 34.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、資源物リサイクル活動奨励交付金ほか 5 件 5,713 千円が支出済である。

#### ●収入証紙売捌・衛生センター稼働・ごみ処理の状況（4 月～9 月末）

##### ○収入証紙売捌状況

102,280 枚、7,943 千円（前年対比 9,221 枚増、521 千円増）



### ○衛生センター稼働状況

し尿処理量 906.9kℓ (前年対比 55.0kℓ減)  
浄化槽汚泥等処理量 552.1kℓ (前年対比 86.6kℓ増)

### ○ごみ処理状況

可燃・不燃等・直接搬入・収集ごみ 684.77 t (前年対比 73.01 t 減)  
資源物 272.72 t (前年対比 22.83 t 減)

## 5 浜中支所

### 住民係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務で、主査1人が配置されており茶内支所住民係の主査1人、主事1人が兼務発令され業務を遂行している。現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入調定額・収入済額ともに169千円で、調定対比100.0%である。歳出予算現額1,703千円に対し、支出済額391千円、執行率23.0%である。

○現金取扱状況	有料 (納付書数)	無料 (納付書数)	引継金額
税金	379 件		5,061 千円
証明手数料	407 件	20 件	173 千円
介護保険料	17 件		63 千円
後期高齢者医療保険料	33 件		329 千円
収入証紙	16 件		64 千円
水道・住宅料ほか	262 件		2,622 千円
合計	1,114 件	20 件	8,312 千円
	(前年対比 100 件減)	(前年対比 4 件増)	(前年対比 427 千円増)

## 6 茶内支所

### 住民係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務であり、主査1人、主事1人のほか浜中支所住民係の主査1人が兼務発令され業務を遂行している。現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額647千円に対し、調定額711千円、収入済額693千円で、調定対比97.5%となっており、歳出は、予算現額6,439千円に対し、支出済額3,201千円、執行率49.7%

である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税金	857 件		15,392 千円
証明手数料	1,094 件	191 件	462 千円
介護保険料	42 件		414 千円
後期高齢者医療保険料	32 件		584 千円
斎場使用料	5 件		75 千円
コミュニティセンター使用料	6 件		258 千円
収入証紙	35 件		1,559 千円
水道・住宅料ほか	866 件		4,488 千円
合計	2,937 件	191 件	23,232 千円
	(前年対比 57 件減)	(前年対比 30 件増)	(前年対比 324 千円減)

## 7 企画財政課

企画財政課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 企画調整係

今年度から令和 11 年度までを計画期間とする「第 6 期浜中町まちづくり総合計画」がスタートした。実施計画については、基本構想・基本計画を踏まえ、毎年ローリングを実施することとしている。将来像達成のため、検討と評価を行いながら計画の管理を行うこととなっている。

また、「浜中町人口ビジョン」「浜中町創生総合戦略」についても今年度からの計画となることから、目標達成のため計画の管理を行うこととなっている。

さらに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、町として取り組む事業を取りまとめ、実施計画の作成や国への交付申請事務を行った。

辺地計画と過疎計画については、財政上の臨時措置を受けるべく、辺地指定と過疎指定を受け、除雪機械や農道の整備等に財源の有効活用を図るよう努めている。

令和 2 年度における町の重点施策実現のため、関係上級官庁や団体等に対して北海道釧路総合振興局や釧路地方総合開発促進期成会を通じて要望活動を実施しているほか、高速道路や高規格道路の整備事業の早期実現に向け、釧路開発建設部、北海道横断自動車道釧路地区早期建設促進期成会、北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会等と連携を図り、要望活動に参加している。

地域の住民活動団体が、自ら行う地域活性化事業などに対して補助を行う「地域振興補助」事業は、9 月末現在で 4 事業 1,255 千円の補助決定を行っている。

人づくり事業については、人づくり推進会議委員を 14 人委嘱のうえ 1 事業を採択しており、本事業を活用した浜中・沖縄少年少女体験交流事業を通じ、本町の自然や産業の良さを改めて認識する地域間交流事業への支援も行っている。また、移住・定住の推進のため、「移住・定住推進員」の地域おこし協力隊 1 名とパンフレットを作成するほか、リモートでの移住相談会に参加するなどコロ

ナ禍での活動を行っている。お試し住宅は移動自粛要請により受け入れを中止している

コミュニティ活動の支援事業として、自治会連合会・単位自治会等と連携し、環境美化運動の推進や花いっぱい運動、新生活運動の推進を継続して行っている。加えて「コミュニティ助成事業」の取りまとめを行い、地域活動の活性化を図っており、今年度は暮帰別町内会が本事業を活用し、お祭り用の着物や山車の骨組みなどを整備している。

今年度の各種統計調査は、5月に学校基本調査、6月に工業統計調査、経済センサス基礎調査が実施されている。(本定期監査期日以降では10月に国勢調査を実施予定。)

予算執行状況は、歳入予算現額1,089,428千円に対し、調定額・収入済額ともに75,166千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額550,591千円に対し、支出済額8,700千円、執行率1.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、一般コミュニティ事業助成金ほか10件4,297千円が支出済である。

## (2) 広 報 係

行政一般の周知、広報紙の発行、町ホームページ、町史編さん、広聴に関することなどを分掌しており、まちづくりの基本方針や計画、経過、結果等を広報し、行政としての説明責任を果たすとともに、町民との情報の共有化を図り、各種行事の周知や情報を広報誌やホームページによって広く町内外へ発信している。

広聴に関しては、ホームページを使った電子メールや町民との直接対話により、町民からの要望、意見、提言、情報の把握に努め、各課との調整による対応を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額10千円に対し、調定額・収入済額ともに0千円で、調定対比0.0%となっており、歳出は予算現額4,380千円に対し、支出済額2,073千円で、執行率47.3%である。

## (3) 財 政 係

予算の編成及び経理、支出命令、地方交付税、町債に関すること等を主な業務としている。

本年度の起債予算計上額は25件3,769,473千円であり、この内、臨時財政対策債116,073千円が含まれている。令和元年度との比較では、4件増で予算計上額は1,380,035千円増となっており、役場庁舎建設事業に関連する緊防債が主な要因と考えられる。

普通地方交付税は交付決定額3,047,866千円に対し、9月末までに2,967,876千円を予算化し、79,990千円が留保財源となっている。

なお、令和2年度に関しては、財政力指数3ヵ年平均22.3%（単年度22.7%）を見込んでいる。

## 8 福祉保健課

福祉保健課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

## (1) 福祉係

災害救助、児童・ひとり親家庭・心身障がい者、生活保護、児童手当、高齢者福祉及び高齢者相談、在宅福祉サービス、放課後児童クラブ、地域生活支援事業ほか、主に社会福祉に関することを分掌しており、係長1人、主査1人で業務を遂行している。

15歳到達後最初の年度末までが対象となる児童手当は、6月支給分児童数が延べ2,379人（前年対比73人減）、支払額24,470千円（前年対比650千円減）である。

生活保護の状況は、老人25世帯（27人）、母子3世帯（8人）、傷病11世帯（15人）、障害4世帯（4人）、その他6世帯（11人）で、合計49世帯（被保護人数65人）、前年対比5世帯減（被保護人数9人減）である。

放課後児童クラブでは、児童61人（霧多布28人、茶内33人。前年対比霧多布2人減、茶内増減なし。）に対して9人（前年対比2人増）の指導員を配置している。

9月末までの身体障害者手帳の交付状況は、新規交付4件、等級変更3件、住所変更1件、返還12件であり、手帳保有者は280人（うち重度障がい者数118人）前年対比18人減となっている。

町単独の敬老週間事業では、例年8月末日現在で対象者を選定し、満88歳の方41人（男15人、女26人）に3万円、満99歳の方3人（女3人）に5万円の敬老祝い金を9月末日までの間に贈呈している。

日常生活用具貸付事業では、日常生活用具（ベッド17台、マット17枚、車椅子2台、エアーマット1枚）の貸付、緊急通報装置の設置（貸付）32台を行っており、高齢者バス利用助成事業では今年度より100円券50枚綴りの冊子の共通券とし、ハイヤーを選択肢に加えており、申請のあった707人に対して交付し、7,574枚（バス3,132枚、JR822枚、ゆうゆ2,060枚、ハイヤー1,560枚）の利用があった。

なお、今年度は火災、海難、風水害に対する災害見舞金・弔慰金の支出は発生していない。

また、自立支援ホームヘルプサービス事業（登録者19人）、外出支援サービス事業（登録者83人）については、浜中町社会福祉協議会に委託のうえ、登録者へ各サービスの提供を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額217,591千円に対し、調定額100,518千円、収入済額99,598千円、調定対比99.1%となっており、歳出は、予算現額479,521千円に対し、支出済額230,112千円、執行率48.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、デイサービス事業運営費補助ほか20件72,186千円が支出済である。

## (2) 健康推進係

町民の健康増進、母子保健及び成人保健、歯科指導及び栄養指導、妊娠届の受理及び母子手帳の交付、感染症その他疾病の予防に関する事、診療所に関する事を分掌している。

成人対策では特定健康診査や各種がん健診などを実施しており、子宮がん検診、乳がん検診については該当者にクーポン券を交付し、受診勧奨を行っている。

母子対策では乳幼児の各種健診や相談事業に加え、産前産後サポート専門相談及び産前産後ケアを助産院マタニティアイに委託のうえ実施し、専門相談利用実績32件（前年対比19件増）、産前ケア利用が5人（前年対比増減なし）、産後ケアはデイケア型を延べ10回、宿泊型を延べ15回、7人（前年対比デイケア型は8回増。宿泊型は14回増。利用人数6人増。）が利用しており、いずれも実績の伸びがみられている。

その他感染症対策として予防接種事業の実施やエキノコックス症対策、広域救急医療対策としてティーベック株式会社委託の24時間電話相談可能な「浜中町健康・医療相談ダイヤル24」事業、栄養対策、歯科対策など、広く町民の健康維持・増進などに関わる保健事業等を実施している。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額6,202千円に対し、調定額・収入済額ともに146千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額99,172千円に対し、支出済額36,032千円、執行率36.3%である。

また、国民健康保険特別会計のうち健康推進係に関する予算執行状況は、歳入予算現額2,803千円に対し、調定額・収入済額ともに0千円で調定対比0.0%となっており、歳出は、予算現額9,218千円に対し、支出済額80千円、執行率0.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、厚岸郡広域救急医療体制負担金ほか5件19,541千円が支出済である。

### (3) 介護保険係

介護保険に関すること、ケアマネジメントセンターに関することを分掌している。

介護保険の申請状況は、新規・更新を合わせ第1号被保険者が95人、第2号被保険者(40歳～64歳)が0人の合計95人(前年対比40人減)である。

介護度別人数は、要支援1(9人)、要支援2(20人)、要介護1(60人)、要介護2(47人)、要介護3(38人)、要介護4(37人)、要介護5(38人)の合計249人となっており、そのうち施設入所または居宅サービスの利用人数は210人(前年対比7人減)である。

9月末現在の介護保険料の収入状況は、調定額95,001千円に対し、収入済額47,150千円で、収納率は49.6%となっており、前年対比2.9%の減である。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額6,740千円に対し、調定額・収入済額ともに3,398千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額73,405千円に対し、支出済額214千円、執行率0.3%である。

介護保険特別会計の歳入歳出予算総額は461,414千円で、歳入予算現額461,407千円に対し、調定額243,811千円、収入済額193,494千円で調定対比79.4%。歳出は、予算現額432,152千円に対し、支出済額170,429千円で執行率39.4%となっている。(歳入歳出の予算現額は、地域包括支援係への配当分を除いた額で記載。)

補助金、負担金及び交付金の状況は、国民健康保険保険者ネットワーク負担金56千円が支出済である。

### (4) 地域包括支援係

地域包括支援センターに関すること、介護予防・日常生活総合事業に関する業務を分掌している。

介護予防・生活支援サービス事業では、介護予防訪問介護をしゃきょう介護センターえぞふうろ、介護予防通所介護をデイサービスセンターハイツ野いちごに委託のうえ実施しており、要支援者配食サービスは地域生活支援センター・ハート釧路及び町社会福祉協議会と委託契約を結び、9月末までに要支援に認定されている11人(延べ42人)に対し446回の配食を実施している。介護認定を受けていない高齢者等については「包括的支援事業」により配食サービスを12人(延べ48人)に対し520回実施している。加えて、介護予防事業として健康教室やハツラツ倶楽部わっはっは、ほのぼのくらぶなどを実施しているほか、今年度より脳トレのプリントを配布するのうちDE脳トレ

を50人（延べ272人）に対して実施している。

また、地域包括支援センター事業として、福祉保健課及び関係機関（社会福祉協議会、診療所、野いちご、訪問看護ステーションなど）の担当者によるケア会議を隔週で開催しているほか、総合相談として、延べ423件（電話141件、来所30件、訪問258件）の介護保険に関することや自立支援サービスに関すること、医療との連携や状況・安否確認、福祉用具の購入や備品の貸出しに関する本人や家族、関係機関や民生委員等からの相談に対応している。

介護保険特別会計のうち包括支援係に関する予算執行状況は、歳入予算現額7千円に対し、調定額・収入済額ともに3千円で調定対比100.0%。歳出は、予算現額29,262千円に対し、支出済額15,961千円、執行率54.5%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道在宅介護支援センター負担金30千円が支出済である。

## 9 町立浜中診療所

### 総務係・医事係

町立浜中診療所各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

浜中診療所特別会計における歳入歳出予算総額は265,463千円で、歳入予算の構成割合は、診療収入36.3%、使用料及び手数料4.0%、国庫支出金0.2%、繰入金53.6%、諸収入0.3%、町債5.6%である。診療収入は前年対比1.2%減になっており、依然として一般会計からの繰入金等（繰入金と町債で歳入全体の59.2%を占めている。前年対比0.9%増。）が多く、経営上厳しい状況であることに変わりはない。

歳出の予算構成割合では、総務費86.7%（総務費の構成割合は、浜中診療所維持管理に要する経費8.4%、浜中診療所運営に要する経費91.6%。）、医業費9.9%（医業費の構成割合は、医業に要する経費81.7%、入院患者等寝具に要する経費4.0%、入院患者等給食に要する経費14.3%）、公債費3.4%となっており、歳出予算のうち大きな割合を占めるのは、報酬、給料、職員手当等、共済費、医師報償費で72.6%となっている。

経営状況は、9月末現在の医業収益で前年対比患者数1,001人、金額で3,847千円の減が認められる。引き続き経営改善策の検討や抜本的経営体制の見直しが必要と思われる。

予算執行状況は、歳入では、調定額45,006千円に対し、収入済額44,729千円、調定対比99.4%となっており、歳出は、支出済額118,760千円で、執行率44.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路市医師会費ほか3件226千円が支出済である。

## 10 税 務 課

### 課税係・収納係

税務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

本年度の町税収納率は、9月末現在で普通税の調定額814,119千円に対し、収入済額500,571千円

で61.5%、国保税は調定額364,496千円に対し、収入済額126,957千円で34.8%の収納率となっており、前年対比では、普通税収納率1.7%、国保税収納率2.3%増となっている。

なお、町民の利便性向上及び収納強化のため、町道民税・軽自動車税・固定資産税・国保税、各種税外金はコンビニ・郵便局で納付可能な体制を整備、実施しており、収納対策として有用な効果を発揮するよう今後も町民への周知を行うとともに、納付意識の向上に期待するものである。

また、町税等の納付に対する町民の公平性と信頼を確保するため、町独自の収納が困難な滞納事案を抽出のうえ「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」に引継ぎ、滞納の解消に努めており、各種税外金についても所管している部署との連携を図り、収納対策委員会の開催や随時指導を行いながら収納業務に尽力している。

課税係の予算執行状況は、歳入予算現額775,771千円に対し、調定額792,836千円、収入済額497,283千円、調定対比62.7%となっており、歳出は予算現額7,524千円に対し、支出済額1,757千円で、執行率23.4%である。補助金、負担金及び交付金の状況は、根釧地区軽自動車申告事務協議会負担金ほか2件107千円が支出済である。

収納係の予算執行状況は、歳入予算現額9,044千円に対し、調定額25,802千円、収入済額7,807千円、調定対比30.3%となっており、歳出は予算現額6,547千円に対し、支出済額1,766千円で、執行率27.0%である。補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路・根室広域地方税滞納整理機構負担金456千円が支出済である。

## 11 出 納 室

### 出 納 係

現金の収入保管、支払及びその記録等については例月出納検査により立証されているため、その他の事務について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額1,758千円、支出済額796千円で、執行率は45.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、指定金融機関である大地みらい信用金庫に対し、派出窓口業務負担金540千円が支出済である。

## 12 建 設 課

建設課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 土 木 係

道路橋梁の維持管理、河川に関する事、都市計画や地籍に関する事など、主に土木に関する事と全般にわたる業務を行っている。

道路及び河川の占用許可数は、道路60件（前年対比7件減）、河川28件（前年対比4件減。許可した28件の内訳は土地13件、工作物13件、水利2件）となっている。

工事執行状況は、土木工事など11件（前年対比3件増）で請負金額68,596千円（前年対比2,942

千円増)、調査設計等委託業務 8 件 (前年対比 1 件増) で請負金額 56,931 千円 (前年対比 28,289 千円減)、災害復旧工事 2 件で請負金額 7,612 千円となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 64,672 千円に対し、調定額 1,931 千円に対し、収入済額 1,930 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 261,593 千円に対し、支出済額 55,096 千円、執行率 21.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道土木積算システム連絡協議会負担金ほか 1 件 270 千円が支出済である。

## (2) 建築係

建築基準法、建築指導、建設リサイクル、建築物の設計及び施工管理などのほか、屋外広告物や融資住宅に関する事務を担当している。

本年度は、建築確認申請 2 件 (前年同数)、建設リサイクル法に係る通知 38 件 (前年対比 1 件増) を 9 月末までに受理・受付している。

工事等の執行状況は、建築工事、水洗化工事など 17 件 (前年対比 8 件増) で請負金額 1,274,570 千円 (前年対比 419,442 千円増)、調査設計等委託業務 1 件 (前年対比 5 件減) で請負金額 23,320 千円 (前年対比 45,980 千円減) となっている。

安心住まいる促進事業は、9 月末現在 10 件 (前年対比 15 件減) の申請があり、この事業に伴う金券発行額は 2,120 千円 (前年対比 199 千円減) となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 532 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%となっており、歳出は、予算現額 5,154 千円に対し、支出済額 1,430 千円、執行率 27.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、既存住宅耐震改修費補助金 (予算現額 600 千円) を予算化しているが、9 月末現在申込者はない状況であるため、予算執行されていない。

## (3) 下水道係

主に下水道及び集落排水事業に関する業務を執行している。

本年度の工事等の執行状況は、公共下水道工事 3 件 (前年同数) で請負金額 34,936 千円 (前年対比 4,008 千円減)、漁業集落排水工事 1 件 (前年対比 1 件増) で請負金額 715 千円 (前年対比 715 千円増)、調査設計等委託業務 5 件 (前年対比 2 件増) で請負金額 22,968 千円 (前年対比 11,348 千円増) となっている。

下水道事業特別会計の歳入歳出予算総額は 436,859 千円で、歳入は、調定額 37,858 千円、収入済額 34,393 千円、調定対比 90.8%。歳出は、支出済額 144,454 千円、執行率 33.1%となっている。

なお、歳出において、一般会計から下水道事業特別会計への繰出金として 280,836 千円が予算化されているが、9 月末現在での繰出しは行われていない。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 9 件 913 千円が支出済である。



## 13 商工観光課

商工観光課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。  
各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 観光係

観光の振興、自然公園の保全と利用、湿原センターの管理運営委託、霧多布湿原学術研究支援制度に関することを主な業務としている。

観光客誘致宣伝として、観光広告の掲載ほか、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、くしろ圏観光キャンペーン促進協議会、釧路町・厚岸町・浜中町で形成される三町広域観光推進協議会、釧路町村会地域づくり広域プロジェクト事業へ参加・協力しており、各種観光パンフレットや資料などの配布を行っている。

地域活性化を目指すルパン三世関連事業の展開では、プロジェクト会議、コレクションの展示、ラッピングバス運行事業、ホームページの更新等を実施している。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためルパン三世フェスティバルイベント、うまいもん市、岬まつりは中止となった。

キャンプ場の利用状況では、有料であるバンガロー利用が 677 人、359 棟（前年対比 423 人、187 棟減）、となっており、無料のテント利用は 889 張 964 人（前年対比 438 張、726 人減）である。

なお、本年度は霧多布湿原学術研究支援制度による助成支援は事業が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 769 千円に対し、調定額 747 千円、収入済額 637 千円で、調定対比 85.3%となっており、歳出は、予算現額 75,966 千円に対し、支出済額 65,046 千円、執行率 85.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、霧多布湿原センター管理運営負担金ほか 13 件 53,516 千円が支出済である。

### (2) 商工労働係

商工業の振興、商工団体、地場産品等の振興、中小企業、企業誘致、消費生活、計量器、労働事業の調査及び相談教育、労働者の福祉・共済に関することなどを分掌している。

商工業者の振興に資する商工機器等購入資金貸付事業では、1 件 1,755 千円（前年対比 1 件 7,241 千円減）の貸付を行った。本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためさっぽろオータムフェスト、サマーフェスタ、浜中秋ど真ん中祭りが中止となった。

新型コロナウイルス感染症対策事業として、事業継続補助 84 件 54,358 千円（法人 27 件、個人事業主 57 件）、特別融資 20 件 125,000 千円（法人 11 件、個人事業主 9 件）保証料補助 9 件 2,061 千円（法人 3 件、個人事業主 6 件）を行い、今後 9 月 1 日現在、住民登録がある 5,675 人に対し地域応援券 10,000 円の金券の配布を予定している。

労働業務としては、労働者の福祉・共済に向けた出稼手帳の交付（新規 1 件、証明 0 件）、技能尊重運動及び事業内職業訓練等に関する業務を実施している。

また、商工業者の担い手確保に向けて平成 29 年度から開始している商工業後継者就業交付金事業

による支援対象者は、9月末現在申請がない状況である。

予算執行状況は、歳入予算現額 45,825 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%。歳出は、予算現額 215,067 千円に対し、支出済額 112,130 千円、執行率 52.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町商工会補助ほか 8 件 72,045 千円（新型コロナウイルス関連補助も含む）が支出済である。

### （3）ふれあい交流・保養センター係

主にセンターの管理運営、利用拡大に関することを分掌しており、前年度同様、商工観光課長の係長事務取扱のもと主事 1 人が事務を執行している。

町民の保養と健康づくりを通じて交流を図るとともに、災害時における避難施設としての活用を図ることを目的とした施設であり、令和 2 年度は 9 月末現在で入浴者 26,269 人（前年対比 19,359 人減。営業日数 152 日、1 日平均 172.8 人）が利用している。

なお、ふれあい交流・保養センターの管理運営等に関しては、霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェクト（代表 株式会社クロエ）に平成 30 年 10 月から令和 5 年 3 月まで指定管理委託が決定している。

予算執行状況は、歳入予算現額 42 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0.0% となっており、歳出は、予算現額 57,057 千円に対し、支出済額 21,287 千円、執行率 37.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、ふれあい交流・保養センター管理運営負担金ほか 2 件 21,287 千円が支出済である。

### （4）中山間活性化施設係

施設の管理運営、利用拡大に関することを分掌しており、会計年度任用職員 4 人が常勤し、係長は商工労働係長が兼務している。

中山間活性化施設（M o - T T o かぜて）は、農・漁業の生産物に付加価値を付けるための研究や開発を目的とした施設であり、町内の多くの女性団体や個人の利用のほか、青少年の農産物加工体験、各種講習会を開催している。9 月末現在の利用者並びに来館者は延べ 1,262 人（前年対比 2,103 人減）となっており、施設内の利用のほか敷地内のパドックを利用した乗馬体験やキャンプ場の活用を通じ、地域と都市の交流を図っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 607 千円に対し、調定額 281 千円、収入済額 280 千円で、調定対比 99.7%となっており、歳出は、予算現額 12,463 千円に対し、支出済額 4,770 千円、執行率 38.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路地方食品衛生協会負担金ほか 1 件 11 千円が支出済である。

## 14 水 道 課

水道課は、水道事業会計については出納室同様、支払及びその記録等が例月出納検査により立証されているため、一般会計部分で水道係所管の関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

## 水道係

予算執行状況は、歳入予算現額 86,929 千円に対し、調定額 43,977 千円、収入済額 43,077 円、調定対比 98.0%となっており、歳出は、予算現額 89,622 千円に対し、支出済額 25,848 千円、執行率 28.8%である。

○使用料納入状況	調定額	収入済額	収入率
農業用水	40,284 千円	39,997 千円	99.3%

## 15 議会事務局

### 議事係・庶務係

議会事務局各係について、提出資料に基づき説明を求め、関係書類の整理及び事務執行について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 57,959 千円に対し、支出済額 31,345 千円、執行率 54.1%となっており、主な支出は、議会議員に要する経費の報酬及び手当 23,005 千円、共済費 7,043 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内町村議会議長会負担金 405 千円が支出済である。

## 16 監査委員事務局

### 監査係

関係書類の整理及び事務執行、提出資料について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 2,161 千円に対し、支出済額 907 千円、執行率は 42.0%となっており、主な支出は監査委員報酬の 843 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村等監査委員協議会負担金 22 千円が支出済である。

## 17 水産課

水産課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 港湾係

港湾に関すること全般、国土交通省港湾局所管に係る海岸保全に関することを業務としている。

港湾施設の利用状況は、港湾施設用地使用料 10 件 685 千円（前年対比件数増減なし、11 千円増）、

物揚場・岸壁使用料 84 件 100 千円（前年対比件数増減なし、52 千円減）、漁船捲揚施設使用料 45 件 2,220 千円（前年対比 1 件増、291 千円増）となっており、合計は 139 件 3,006 千円（前年対比 1 件増、251 千円増）である。

本年度は霧多布港整備事業計画により、事業費 75,220 千円、町負担 12,933 千円で港湾施設用地（琵琶瀬湾）及び航路、防波堤（北）の整備を行い、霧多布港海岸における津波対策事業として、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、霧多布港海岸防潮堤嵩上改良工事ほかを事業費合計 117,183 千円で発注している。

予算執行状況は、歳入予算現額 65,464 千円に対し、調定額 3,006 千円、収入済額 2,118 千円、調定対比 70.5%となっており、歳出は、予算現額 184,673 千円に対し、支出済額 14,431 千円、執行率 7.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道港湾協会負担金ほか 1 件 160 千円が支出済である。

## （2）漁政係

水産業関係団体、漁業制度資金、漁業の担い手確保、沿岸漁業の振興、水産物の流通加工及び衛生管理、船員法、漁港整備計画及び利用、海岸保全に関することのほか津波防災ステーションの管理運営に関することも分掌している。

漁業機器等購入資金貸付事業では、0 件（前年対比 5 件 4,890 千円減）で、その償還状況は、歳入予算現額 9,350 千円に対し、年度末までに入金予定のため、9 月末現在では調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%となっている。

また、漁業の担い手確保に向け、漁業後継者就業交付金事業による支援対象者として新規承認者 7 人を含む 21 人を承認している。（今年度は道立漁業研修所総合研修受講補助は新型コロナウイルス感染予防対策により研修が中止となり実施していない。）

なお、海岸保全に関することとして、高潮・津波・浸食等による町民の生命・財産を守るため、今年度は霧多布地区建設海岸（水取場）の防潮堤（堤防 L=646.7m）の嵩上げを実施しているほか、漁港整備計画及び利用に関することとして、水産基盤整備計画に基づき火散布漁港関連施設の整備や火散布漁港、琵琶瀬漁港の改修を行っているほか、町単独事業として、漁業集落排水機能保全計画の策定と役場新庁舎建設に伴い津波防災ステーションの移転工事を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 25,383 千円に対し、調定額・収入済額ともに 4 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 98,680 千円に対し、支出済額 13,126 千円、執行率 13.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、漁業近代化資金利子補給ほか 11 件 2,026 千円支出済である。

### ●登録漁船数、陸揚量、陸揚金額の状況等（港勢調査の概要（平成 30 年分）より）

対象漁港：散布、琵琶瀬、榊町、浜中（奔幌戸）、浜中（賞人） 5 漁港

登録漁船数	631 隻	陸揚量	7,083 t	陸揚金額	2,322,035 千円
	(前年対比増減なし)		(前年対比 158 減)		(前年対比 22,233 千円増)

●漁業近代化資金利子補給承認状況

(単位：千円)

	浜中漁業協同組合		散布漁業協同組合		北海道信漁連		合 計	
	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額
1号資金	2	2,820	3	14,760	-	-	5	17,580
2号資金	-	-	2	8,200	-	-	2	8,200
3号資金	-	-	-	-	-	-	-	-
4号資金	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	2	2,820	5	22,960	0	0	7	25,780
前年対比	△4	△7,440	5	22,960	-	-	1	15,520

(3) 水産振興係

水産業に係る環境保全、栽培漁業、沿岸漁場の整備開発、水産業に係る試験研究の調整、漁業技術の改良普及、水産資源の管理に関することを業務としており、前年度に引き続き水産課長の係長事務取扱のもと主任1人、主事1人で事務を執行している。

本年度は、平成29年度より整備している新川船揚場整備事業で左側上部コンクリートL=18.2m、鋼矢板打設L=17.1mの工事を予定しているほか、琵琶瀬瀬戸及び新川航路の航路掘削工事を実施している。栽培漁業については、関係機関との連携協働のもと推進を図り、ウニ種苗生産センター建設工事を行っており、3月中の供用開始を予定している。

また、浜中・散布漁協が実施するマツカワ種苗購入事業に対して水産振興基金を財源に補助を行い、近年大雨被害を受けている散布養殖施設については町水産振興連絡協議会・養殖部会・散布漁協で塩分計を購入し、降雨による火散布沼への塩分濃度の影響について調査を行い、大阪府立大学等と共同で今後の対策を検討することとしている。令和3年3月には水産物付加価値向上を目的に、ブランド化や販売促進活動への支援として札幌市（ポールスター札幌）での物産展を開催予定である。

予算執行状況は、歳入予算現額 581,943 千円に対し、調定額・収入済額 133,844 円で、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 891,510 千円に対し、支出済額 275,747 千円、執行率 30.9%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路昆布普及協議会負担金ほか6件770千円支出済である。

18 保 育 所

保育業務係

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

常設の霧多布保育所（定員140人）及び茶内保育所（定員80人）は、定員220人に対して134人（前年対比6人減）の幼児が入所している。霧多布保育所は56人（5歳児7人、4歳児20人、3歳児10人、2歳児9人、1歳児7人、0歳児3人）の幼児に対し、保育士11人（前年対比増減なし）、管理栄養士1人、調理員2人の体制であり、茶内保育所は78人（5歳児16人、4歳児18人、3歳児19人、2歳児10人、1歳児12人、0歳児3人）の幼児に対し、保育士13人（前年対比1人増）、調

理員 2 人で対応している。

このほか、子育て支援センターでは 4 月 1 日から 9 月 30 日までの期間で延べ 353 人の利用に対し保育士 2 人が対応しており、一時預かり保育では 4 月 1 日～9 月 30 日までの期間で延べ 110 人に対し保育士 1 名が対応し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めている。

なお、両保育所とも避難訓練を毎月 1 回ずつ実施しているほか、年次計画に基づく各行事については新型コロナウイルス感染防止に考慮した行事に努めている。

へき地保育所の運営については、散布・浜中・姉別の 3 ヶ所を開設し、幼児数 41 人（前年対比 2 人減）に対して保育士 7 人（前年対比増減なし）で保育にあたっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 56,859 千円に対し、調定額 12,380 千円、収入済額 6,786 千円、調定対比 54.8%となっており、歳出は、予算現額 114,576 千円に対し、支出済額 41,766 千円、執行率 36.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道社会福祉協議会会費（保育協議会）2 件 56 千円が支出済である。

## 19 農業委員会

### 農政係・農地係

農業委員会各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

予算執行状況は、歳入予算現額 10,171 千円に対し、調定額 1,181 千円、収入済額 1,152 千円、調定対比 97.5%となっており、歳出は予算現額 12,758 千円に対し、支出済額 5,846 千円、執行率 45.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道農業会議拠出負担金ほか 1 件 273 千円支出済である。

#### ●農地法許可関係

農地法第 3 条	（売買）	0 件	0 m <sup>2</sup>	（前年： 0 件	0 m <sup>2</sup> ）
〃	（贈与）	1 件	736,401.86 m <sup>2</sup>	（前年： 0 件	0 m <sup>2</sup> ）
〃	（賃貸借）	2 件	160,475 m <sup>2</sup>	（前年： 6 件	677,492.04 m <sup>2</sup> ）
〃	（使用貸借）	1 件	884,019 m <sup>2</sup>	（前年： 2 件	1,856,599 m <sup>2</sup> ）
農地法第 4 条	（農地転用）	6 件	33,955 m <sup>2</sup>	（前年： 3 件	23,425 m <sup>2</sup> ）
農地法第 5 条	（農地転用）	0 件	0 m <sup>2</sup>	（前年： 2 件	8,629 m <sup>2</sup> ）

●農地保有合理化事業（買入）	1 件	539,257 m <sup>2</sup>	（前年： 0 件	0 m <sup>2</sup> ）
（売渡）	3 件	898,171.72 m <sup>2</sup>	（前年： 1 件	233,825 m <sup>2</sup> ）

●農地中間管理事業	0 件	0 m <sup>2</sup>	（前年： 0 件	0 m <sup>2</sup> ）
-----------	-----	------------------	----------	--------------------

#### ●農業経営基盤強化促進事業

担い手農地利用調整事業（賃貸借）	8 件	3,027,565.24 m <sup>2</sup>
------------------	-----	-----------------------------

〃 (所有権移転)	2 件	915,934 m <sup>2</sup>		
利用権設定等促進事業 (賃貸借)	14 件	2,224,357.76 m <sup>2</sup>	(前年 :	6 件 1,107,155 m <sup>2</sup> )
〃 (利用権移転)	1 件	13,626 m <sup>2</sup>	(前年 :	0 件 0 m <sup>2</sup> )
〃 (所有権移転)	4 件	289,367 m <sup>2</sup>	(前年 :	1 件 41,723 m <sup>2</sup> )

●利用集積計画公告件数

公告内容	件数	面積
所有権移転	10 件	2,629,103.72 m <sup>2</sup>
賃貸借設定	22 件	5,251,923 m <sup>2</sup>
利用権移転	1 件	13,626 m <sup>2</sup>

●土地の現況証明願件数

46 筆 164,118 m<sup>2</sup>

(内訳 : 地目変更 39 筆、地目確認 6 筆、農業用施設建設 1 筆)

●農業者年金申請等の状況

裁定請求 (新制度) 2 件 (内訳 : 老齢年金 2 件、特例付加年金 0 件)

〃 (旧制度) 1 件 (内訳 : 老齢年金 0 件、経営移譲年金 1 件)

未支給年金請求 4 件

新規加入 2 件

資格喪失 1 件

その他届出 7 件

●農地所有適確法人数

17 法人 (前年対比増減なし)

## 20 農 林 課

農林課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

### (1) 林 務 係

主に、町有林、民有林の経営指導、治山事業、鳥獣保護、自然保護、有害鳥獣の駆除に関することなどについて、前年度に引き続き農林課長の係長事務取扱のもと主任 2 人で事務を執行している。

町有林整備事業では、人工造林、下刈について、予算額 15,880 千円のところ、9 月末日までに各事業合計 14,822 千円で契約の上実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 63,522 千円に対し、調定額 10,799 千円、収入済額 10,797 千円で、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 93,555 千円に対し、支出済額 31,854 千円、執行率 34.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町鳥獣被害防止対策協議会負担金ほか 6 件 1,273 千円が支出済である。

## (2) 農業振興係

農業の振興、農業基盤整備、農業農村整備に関することを分掌としており、農業の振興として中山間地域等直接支払交付金事業などに係る事務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 176,611 千円に対し、調定額・収入済額ともに 65,659 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 267,329 千円に対し、支出済額 89,842 千円、執行率 33.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は中山間地域等直接支払交付金ほか 5 件 88,882 千円が支出済である。

## (3) 農政係

農村生産団体、農業担い手、産業振興資金（家畜購入）、農業制度資金、家畜伝染病予防に関することなどを主な業務としている。

家畜購入資金貸付事業は、予算現額 18,000 千円に対して 1 件 5,972 千円の申請があり、新規貸付を行っており、本件に係る償還は令和 4 年度から令和 7 年度までの 4 カ年となっている。また、9 月末現在におけるこれまでの貸付金の償還状況は、調定額 4,000 千円に対し、償還済額 250 千円、償還率 6.3%となっている。

なお、農業の担い手確保に向けた農業後継者就業交付金事業による支援対象者は、前年対比 1 人減の 7 人分を予算化している。

予算執行状況は、歳入予算現額 14,784 千円に対し、調定額 4,200 千円、収入済額 450 千円、調定対比 10.7%となっており、歳出は、予算現額 98,594 千円に対し、支出済額 18,995 千円、執行率 19.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、（有）浜中町就農者研修牧場負担金ほか 8 件 12,025 千円が支出済である。

# 21 教育委員会

教育委員会各課・係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。各係事務事業内容は、次のとおりである。

## (1) 管理課

### ① 総務係

総務係は、主に教育委員会に関すること、事務局及びその他教育機関の職員の任免ほか人事、学校



の設置・廃止、奨学資金、学校施設及び教職員住宅の管理、学校施設の使用許可などについて分掌し、業務を遂行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 9,069 千円に対し、調定額 6,090 千円、収入済額 3,040 千円、調定対比 49.9%となっており、歳出は、予算現額 233,177 千円に対し、支出済額 44,505 千円、執行率 19.1%で、主な支出済額は、学校配当ほか需用費 12,827 千円、会計年度任用職員報酬・手当・共済金 17,315 千円などである。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内教育委員会連絡協議会負担金ほか 2 件 564 千円が支出済である。

●奨学金給付状況

大学生・短大生	4 人 (前年対比 5 人減)	月額	11,000 円 (前年同額)
専門学校生	3 人 (前年対比増減なし)	月額	11,000 円 ( " )
高校生	18 人 (前年対比 3 人増)	月額	5,500 円 ( " )
合 計	25 人	年額	2,112 千円 (前年対比 2 人、462 千円減)

●教員住宅使用状況 小・中学校合計 71 戸 (うち老朽戸数 23 戸) 調定額 5,791 千円

② 学校教育係・指導室

学校教育係は教職員の人事、児童生徒の就学及び転出入、教職員・児童生徒の保健衛生福利及び厚生、通学区域、スクールバスの運行・管理及び委託、就学援助に関する事務を執行している。

指導室は、学校教育に関する専門的事項の指導事務及び教職員の研修についての業務を執行している。

なお、9 月末日現在の児童生徒数は下表のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 48,700 千円に対し、調定額・収入済額ともに 5 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 208,265 千円に対し、支出済額 54,711 千円、執行率 26.3%で、主な支出済額は、学校用バス運行委託料 26,967 千円、教師用指導書ほか需用費 5,428 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町教育研究所負担金ほか 11 件 4,964 千円が支出済である。

●町内各学校の状況

学校名		児童数	生徒数	学級数	教員数	備 考
小学校	霧多布	89 人		9	15 人	
	浜 中	34 人		5	12 人	定数外職員 1 人
	茶 内	107 人		9	15 人	定数外職員 1 人
小 中 併置校	散 布	24 人	13 人	9	18 人	
中学校	霧多布		52 人	4	13 人	
	浜 中		16 人	5	12 人	
	茶 内		49 人	6	14 人	
合 計		254 人	130 人	47	99 人	

●要保護及び準要保護児童生徒の状況

小学校	要保護 3 人、準要保護 43 人	(前年対比 要保護 1 人減、準要保護 2 人減)
中学校	要保護 1 人、準要保護 32 人	(前年対比 要保護 1 人減、準要保護 6 人減)
合計	要保護 4 人、準要保護 75 人	(前年対比 要保護 2 人減、準要保護 8 人減)

(2) 生涯学習課・総合文化センター

① 社会教育係・総合文化センター係

社会教育係は、主に生涯学習の推進や社会教育に関することを分掌し、芸術文化の振興、文化財の保存・活用に関すること、青少年教育や成人教育（女性、高齢者、家庭教育を含む。）に関する事務を執行しており、総合文化センター係は、芸術・文化活動の練習、発表の場及びレクリエーション等の利用、図書の貸出し等の事業、郷土資料等の活用及び保存に関する業務を執行している。係長1人、主事2人が2つの係を兼務している。（総合文化センター係については、図書館司書の有資格者1人を会計年度任用職員として雇用している。）

今年度は新型コロナウイルス感染予防対策として総合文化センターを一時休館にし、外出自粛に伴い図書の貸出を通常5冊2週間の倍の10冊4週間とした。また今年度は団体へ図書の貸出、宅配図書を新たに行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 290 千円に対し、調定額 139 千円、収入済額 135 千円、調定対比 97.1%。歳出は、予算現額 37,186 千円に対し、支出済額 12,338 千円、執行率 33.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町文化協会補助ほか 13 件 1,561 千円が支出済である。

●総合文化センター利用状況

利用件数 271 件、利用者数 6,688 人（前年対比 117 件 15,363 人減）

●総合文化センター図書貸出

利用者数 739 人（夜間 47 人） 前年対比 211 人減（夜間 32 人減）

貸出冊数 2,587 冊（夜間 228 冊） 前年対比 267 冊減（夜間 37 冊減）

その他の実績（団体）7 件 181 冊

（宅配図書）39 件 391 冊

※ 毎週火曜日と木曜日の夜間開放（17：00～21：00）を継続している。

② スポーツ係

社会体育施設に関すること、体育（スポーツ及びレクリエーション含む。）の普及ほか、体育振興及び指導に関する事務を執行しており、町内の関係団体と連携し、町民水泳大会や小学生対象の水泳教室や陸上教室、野球教室の開催等に関する事務も執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 486 千円に対し、調定額 288 千円、収入済額 285 千円、調定対比 98.6%となっており、歳出は、予算現額 64,047 千円に対し、支出済額 20,923 千円、執行率 32.7%である。

なお、各体育施設等の利用状況の詳細については下記の「各施設利用状況」のとおりとなっている

が、今年度は新型コロナウイルス感染予防対策により施設を一時休館としたため開館日数及び利用者数が大幅に減少している。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町スポーツ振興補助ほか7件2,287千円が支出済となっており、9月末現在ではスポーツ振興補助として中学校2校（霧多布、茶内）と霧多布高等学校から陸上、駅伝の各種大会出場に伴って延べ7件の申請があり、403千円を支出している。

### ●各施設利用状況

社会体育施設等名称		開館・開放日数	利用者総数 (団体・個人含む延べ数)	前年対比
屋 内	浜中町総合体育館	127日	4,173人	2,903人減
	農業者トレーニングセンター	124日	1,300人	459人減
	浜中町民温水プール	109日	1,847人	486人増
	すくらむ21	123日	632人	169人減
	(小計)	-	7,952人	3,045人減
屋 外	総合グラウンド	120日	324人	326人減
	霧多布スポーツ広場	120日	106人	375人減
	農村運動広場	120日	11人	64人減
	町民パークゴルフ場	138日	2,016人	129人減
	(小計)	-	2,457人	894人減
学 校 開 放 外	霧多布小学校	0日	0人	54人減
	霧多布中学校	0日	0人	23人減
	西円地域体育館	4日	29人	428人減
	(小計)	4日	29人	505人減
合 計		-	10,438人	4,444人減

### (3) 霧多布高等学校

#### 管 理 係

霧多布高等学校の教職員に関すること、学校施設（校舎・グラウンド・教員住宅）の管理、入学金等の収納、物品の調達及び管理、スクールバスの管理運行に関することなどを分掌し、事務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額14,076千円に対し、調定額11,311千円、収入済額1,889千円、調定対比16.7%となっており、歳出は、予算現額58,456千円に対し、支出済額17,785千円、執行率30.4%である。主な支出は、燃料費や修繕料ほか需用費5,135千円、会計年度任用職員ほか報酬及び手当3,790千円、学校用バス運行委託料ほか委託料2,406千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、遠距離通学補助ほか4件962千円が支出済である。

#### (4) 学校給食センター

##### 総務係・業務係

総務係では給食センターの管理運営、職員の衛生管理及び福利厚生、給食センターの防火・衛生管理などの事務を執行し、業務係は、給食物資の調達、給食の献立及び調理、供給配送など給食業務に関することを分掌している。

センターの運営については、調理員 7 人を会計年度任用職員として雇用し、年間 195 日を基準として給食の供給を実施しており、本年は新型コロナウイルス感染予防対策として学校の臨時休業による学校給食の休止に伴い、9 月末現在の給食実施状況は、供給日数 85 日で 48,538 食と減少している。

予算執行状況は、歳入予算現額 419 千円に対し、調定額・収入済額ともに 149 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 67,309 千円に対し、支出済額 22,879 千円、執行率 34.0%である。主な支出は、会計年度任用職員報酬及び手当 9,256 千円、光熱水費や地場産食材提供費ほか需用費 8,376 千円、配送車運行委託ほか委託料 3,809 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路管内学校給食研究協議会負担金ほか 2 件 705 千円が支出済である。

## 22 特別定額給付金対策室

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、国が国民に対し一律 10 万円を給付するための事務について、臨時部署である特別定額給付金対策室を設け、課長、係長 2 名、主事 4 名で事務を執行した。

4 月 27 日付の住民基本台帳登録人口 5,687 人に対し、申請書を送付し、最終の 8 月 24 日までに 5,667 人に支給した。

予算執行状況は、調定額・収入済額ともに 381,887 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 578,072 千円に対し、支出済額 572,046 千円、執行率 99.0%である。